




事例タイトル				
本物に触れる(授業における外部人材の活用)				
基本情報				
実施地区名	実施主体	関連する学校名	カテゴリ①	カテゴリ②
調布市	地域コーディネーター(地域学校協働本部)	調布市立第三小学校	カ 授業支援・キャリア教育	ケ 人材確保や人材バンク等の活用
実施時期		主な対象		
9月(1回)		5年生 ※図工「水墨画体験」		
取組の背景				
<p>第三小学校では、毎年学校教育に地域住民などの学校外の力を活用する取組を行っています。その活動の柱に、外部講師を活用した「出前授業」があります。地域学校協働本部が導入される前は、学校の教員が地域人材を探し、地域人材との交渉や打ち合わせも行っていました。地域学校協働本部が導入されてからは、教員が本来の職務に集中できること、教員の異動によって取組がなくなるようなことにならないようにするために、外部人材を探したり、外部人材との打ち合わせもできる限り地域学校協働本部の地域コーディネーターに移管するようにしています。手続きに必要な書類作成や、出前授業後の対応もできる限り地域コーディネーターが関わり、教員の負担を軽減するとともに、地域と協働して持続的に学校教育活動を推進できるよう仕組みづくりをしています。</p>				
取組の工夫				
<p>毎月1回、学校管理職と地域コーディネーターとの定例会で、翌月の学校行事の詳細について情報交換を行い、学校と地域学校協働本部活動の連携を図っています。情報交換で打ち合わせした内容をもとに、必要に応じて担当教員との打ち合わせや講師との折衝・打ち合わせを行っています。時には、定例会に「出前授業」を行う学年の教員も参加することで、その後の段取りがスムーズに運ぶこともあります。管理職から職員会議等で地域学校協働本部の地域コーディネーターを活用した「出前授業」の取組を推奨したり、年度末の学年の引継ぎで良かった「出前授業」を伝えてもらうなど、地域学校協働活動を教員に周知する努力も続けています。また、地域学校協働本部が発行する通信に「出前授業」の様子を掲載して、保護者・地域・先生方に配布しています。</p>				
取組の様子				
 				<p>出前授業 図工「水墨画体験」実施の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会で翌月のスケジュール確認 ・担当教員と相談 ・外部講師との折衝, 打ち合わせ ・必要書類の作成 ・出前授業当日の対応 ・出前授業後の手続き <p>以上を地域学校協働本部が担いました。</p>
<p>その他</p> <p>地域学校協働本部が導入され4年目になり、地域学校協働活動や地域コーディネーターの役割が教職員に周知され、教員から直接相談されることも増えてきました。授業等で外部人材を活用した取組を教員が中心になって講師との折衝を行うこともありますが、今後より一層地域学校協働本部で担えるよう、取組の継続と、先生方が授業や子どもとの関わりに重点を置いて取り組めるようにしていきたいと考えています。</p>				